

教員免許取得を目指す学生が
1年次に履修すべき履修科目
(※学生便覧P52以降参照)

1. 大学共通科目

1. 学士課程(一種免許)

大学共通科目／全学群共通

区 分	授 業 科 目	単 位 数		履 修 年 次				備 考
		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
免許法施行規則第66条の6に規定する科目	日本国憲法	2		○				
体育	体育実技	1		○				
	体育理論	1		○				
外国語コミュニケーション	Reading/Listening		2	○				これら2科目から、1科目2単位以上選択必修
	Presenting Ideas		2		○			
情報機器の操作	コンピュータリテラシー	2		○				

必修科目の確認

配当年次の確認

※必修科目6単位を修得し、上記の選択必修科目の条件を満たし、合計8単位以上を修得しなければならない。



(1) 教員免許共通必修科目 学生便覧P55

科目	時間割	備考
日本国憲法	夏期集中講義（9/7 - 10）	1 学期集中等の欄から履修登録
体育実技	【注意】 ①高校（公民） ※経済・マネジメント学群 1 学期水曜2限以外のクラスを選ぶこと （1 学期水曜1 限、2 学期水曜2、3 限のいずれかからクラスを選ぶこと） （理由）備考欄参照 ②中学・高校（理科） ※環境理工学群 2 学期水曜2 限のクラスを選ぶこと （理由）備考欄参照 ③その他免許種 下記の体育理論日程と重複しないよう体育実技のクラスを選択すること	【理由】他の必修科目と開講時限が重複するため 【注意】 ・高校（公民）の学生は、 1 学期水曜2 限「基礎心理学」と 1 学期水曜3 限「体育理論(A)」を 必ず履修する必要があるため ・中学・高校（理科）の学生は、 1 学期水曜2 限「現代化学の基礎」と 2 学期水曜3 限「体育理論(B)」を 必ず履修する必要があるため
体育理論	①経済・マネジメント学群 1 学期3 限「体育理論(A)」を履修 ②その他の学群 2 学期3 限「体育理論(B)」を履修	・高校（公民） 中学・高校（理科）の学生は、 体育実技備考欄を参照
英語	各学群の時間割のとおり「Reading／Listening」を履修すること	
コンピュータリテラシー	各学群の時間割のとおり「コンピュータリテラシー」を履修すること	

2. 教育の基礎的理解に関する科目 (学生便覧P55)

授業時間割表に、「教」と記載のある科目

⇒卒業要件に含まない。年間48単位の履修制限の対象外

教育の基礎的理解に関する科目／全学群共通（「各教科指導法」を除く）

区 分	授 業 科 目	単 位 数		履 修 年 次			
		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次
免許法施行規則に定める 科目							
教育の基礎的理解に関する科目	★教職概論	2		○			
	★教育原論	2		○			
	★教育史		2	○			
	★教育心理学	2		○			
	★特別支援教育概論	1		○			
	★教育制度論	2			○		

①必修★教職概論：1学期水曜5限

②必修★教育原論：2学期水曜5限

③選択★教育史：冬期集中講義(2学期 集中等の欄へ)

④必修★教育心理学：2学期水曜4限

⑤必修★特別支援教育概論：冬期集中講義(2学期 集中等の欄へ)

3. 専門科目

※一部自然科学等科目、人文・社会科学等科目含む

学生便覧P56～66に掲載されている学群別免許種別の資格要件に記載された科目を履修すること

＜留意点＞

- ・必修・選択必修、必要取得単位数をよく確認すること
- ・環境理工学群の学生は、数学免許と理科免許に必要な科目の時間が重複しているため、主とする免許種を決定し、必要な科目を優先して履修すること。※もう一方の科目は次年度以降に履修する

(例) 1学期火曜4限「微分積分学1」1学期金曜4限「線形代数学1」

(中学・高校(数学))と1クォータ火金4限「物理学概論」(中学・高校(理科))が重複

4. 教職課程履修願の申請について

教職課程を希望する学生は、**4月7日(火)13時までにポータルシステム**の「**アンケート**」から、教職課程履修願の申請(回答)を行ってください。

<留意点>

- ・経済・マネジメント学群の中学・高校(数学)は、数理経済マネジメント専攻を修了する必要があります。
- ・経済・マネジメント学群では、「数学」(中学、高校)と、高校(公民)・中学(社会)を同時に目指すことはできません。